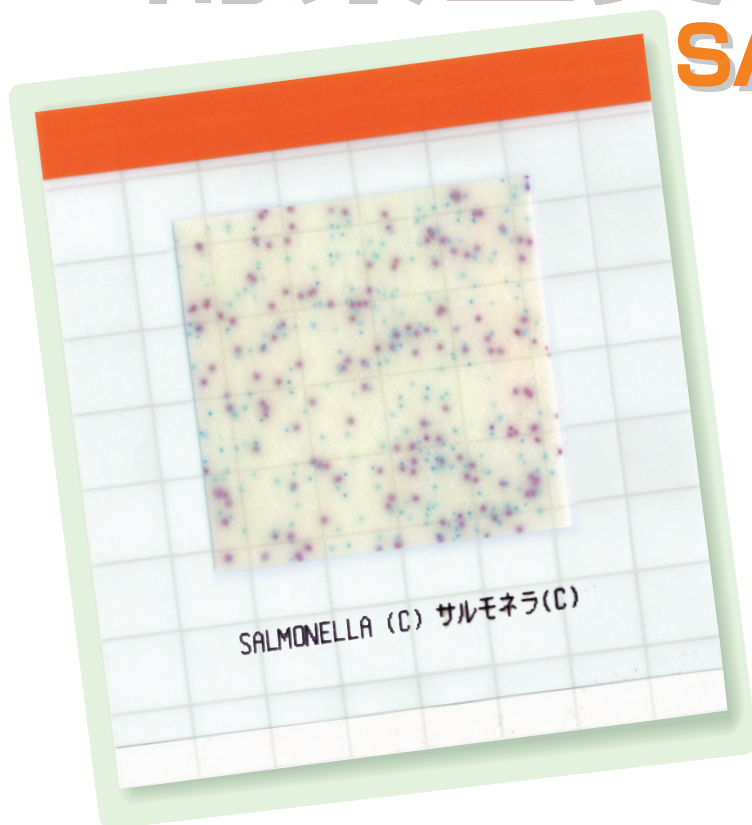


酵素基質サルモネラ SALMONELLA (C)



- サルモネラは α -ガラクトシダーゼ活性を指標し、鮮明な青色スポットとして観察されます。
- 大腸菌群は α -ガラクトシダーゼ活性と β -ガラクトシダーゼ活性を指標し、紫色のスポットとして観察されます。

培養条件：35℃ 24時間

サニ太くんは、不織布を備えたシート状培地です。これ一枚で、通常寒天培地同様のご使用に加え、ふき取り、スタンプ検査も行なえます。

サニ太くんなら **簡単** **安心** **確実** に検査できます。

- ・培地調製の手間がかかりません。
- ・長期保存が可能です。
- ・場所をとりません。
- ・操作が簡単です。
- ・ふき取り検査が簡単です。
- ・廃棄量が少なく、処理も容易です。
- ・液漏れがありません。
- ・持ち運びが容易です。

●販売単位

- ・100枚 (25枚入りアルミ袋×4)
- ・1000枚 (100枚入り小箱×10)

●使用上の注意

- ・本品は日常の微生物管理を目的とするものです。
- ・使用済み培地シートは、必ず高圧蒸気滅菌などの処理をおこなった後、廃棄してください。
- ・2~15℃で保存し、開封後は遮光を施し1ヶ月を目安に使い切ってください。
- ・その他、サニ太くん使用上の注意をよくお読みになったうえで使用ください。

発売元

JNC株式会社 ライフケミカル部

〒100-8105 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
TEL 03-3243-6225 FAX 03-3243-6219
サニ太くんホームページ
<http://www.chisso.co.jp/sanita/>
e-mail : sanita-kun@chisso.co.jp

商品お取扱店

サニ太くんを使ったサルモネラ検査手順

試料に9倍量の滅菌生理食塩水または緩衝ペプトン水を加え、ストマッカー処理後その試料液1mlをサニ太くに添加する。

前増菌培養

- ・ 試料25gを緩衝ペプトン水225mlに入れ、 $35 \pm 1.0^\circ\text{C}$ 18 \pm 2時間培養する。
- ・ サニ太くん酵素基質サルモネラ用に滅菌生理食塩水を1ml入れて、常温で保存しておく（画線塗抹する1時間以上前に滅菌生理食塩水を添加しておく）。

試料自体の大腸菌群数が 10^5CFU/g 未満であることが想定される場合

選択増菌培養

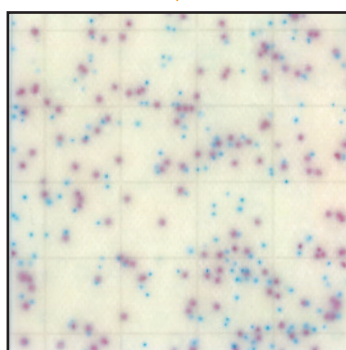
- ・ 前増菌培養液0.1mlを10mlラポート
- ・ バシリアディス・ブイオン (RV) に加え $41.5 \pm 1.0^\circ\text{C}$ 18時間培養する。

分離培養

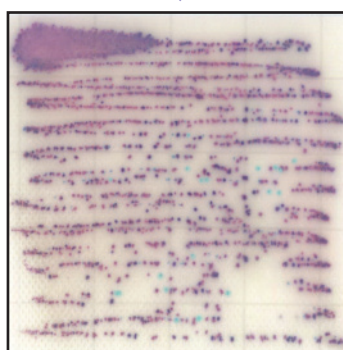
- ・ 前増菌培養液または選択増菌培養液を、白金耳または滅菌竹串で滅菌生理食塩水を添加しておいたサニ太くん酵素基質サルモネラ用に画線塗抹します。
- ・ 35°C 24時間培養します。

判定

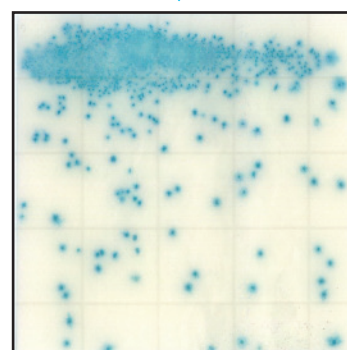
- ・ 鮮明な青いコロニーがサルモネラのコロニーです。
- ・ 紫色のコロニーは大腸菌群のコロニーです。



直接試料液添加したとき
(前処理無)



前増菌培養液画線塗抹



選択増菌培養液画線塗抹

使用上の注意 (前増菌培養、選択増菌培養の画線塗抹における注意事項)

- ・ 前増菌培養、選択増菌培養を含む前処理は必ず細菌試験室で行ってください。
- ・ 画線塗抹等エアロゾルの発生する可能性のある工程は循環式クリーンベンチまたは安全キャブネット内で行ってください。
- ・ サニ太くん画線塗抹する時は、白金耳が不織布の繊維に引っかかり試料液が飛散することがあるので注意してください。
(ニクロム線や竹串など比較的堅いもので塗抹すれば試料液の飛散を抑えられます。)
- ・ 使用手順をよくお読みになった上でご使用ください。